**◆再改訂版「放射線副読本」ここが特に問題！**

**はじめに**（中・高校生版）

**＊「放射線は、私たちの身の回りに日常的に存在しており、放射線を受ける量をゼロにすることはできません」**

原発を廃止すれば、自然にある以上の放射線を受ける量をゼロにできることを教えていません。自然の放射線も無害ではありません。

**＊「放射線は工業分野では製品開発などに利用されたり、農業分野では品種改良などに利用されたりするなど、放射線は私たちの生活を豊かにするためにも利用されています」**

福島原発事故で人々は放射線被ばくを無理やり押しつけられ、人権を侵害されているのであって、工業分野や農業分野での放射線利用とひとくくりにすることはできません。

**＊「避難した人たちは、慣れない環境の中での生活を余儀なくされました。それにも関わらず、東日本大震災により被災したり、原子力発電所事故により避難したりしている児童生徒がいわれのないいじめを受けるといった問題も起きてしまいました」**

避難した人に味方しているかのように見せていますが、東京電力や政府の原発推進が事故を引き起こし、避難生活を強いているという責任を隠しています。政府が責任を認め、脱原発に踏み切り、事故被害を補償し被害者に寄り添う政策をとれば、社会の雰囲気はいじめを生じないようになるのではないでしょうか。

**「放射線の種類と性質」**（中・高校生版）

**＊「放射線を光に例えると、放射性物質は電球、放射能は光を出す能力に例えられえます」**

これはごまかしです。放射線は光に比べて、振動数が数千～数千万倍大きいので、持っているエネルギーも数千～数千万倍強いのです。人体にとってそれだけ危険なことは昔から知られたことです。

**「放射線による健康への被害」**（中・高校生版）

**＊「100 ～ 200 ミリシーベルトの放射線を受けたときのがん（固形がん）のリスクは1.08 倍であり、これは１日に110g しか野菜を食べなかったときのリスク（1. 06 倍）や高塩分の食品を食べ続けたときのリスク（1. 11 ～1.15 倍）と同じ程度となっています」**

野菜の不足や高塩分食はそのような傾向がみられるだけです。被害が明らかな放射線被ばくと並べることは科学に反します。１億人がすべて１ｍSｖ被ばくすれば１万人レベルのがん死の増加が起こります。

**◆学校や教育委員会に「使わない」ように言いましょう。**

**□放射線副読本、放射線のホントなどの資料は文科省と復興庁のHPにあります。**

**□賛同団体を増やしてください。**

　とりあえず、3団体の呼びかけでスタートさせました。「賛同団体」という形で、全国のみなさまの運動にしていただきたいです。団体名と連絡先(できれば、住所とメール)をお知らせください。

**賛同団体になります。**

**団体名**

**連絡先　住所　〒**

**メール**

**(送り先) FAX.072-339-2871　メール：****minako-i@estate.ocn.ne,jp**

**□カンパをお願いします。署名の印刷発送、政府交渉交通費の補助に使います。**

**郵便振替　00990－2－72955「地球アクション」です。**

**□署名を集めて下さるみなさまへメールでお知らせします**

通信希望と書いて上のメールアドレスに送ってください。全国の運動の状況と政府交渉の日程などをお知らせします。FAXなど他の手段を希望する方もご連絡ください。